

たちばな会のお知らせ

2020年10月

5年に一度の国勢調査が始まりました。さて この調査、いつ始まったのだろうと思って調べてみたら、第1回は大正9年(西暦1920年)とありました。産経新聞に「国勢調査で見える日本 100年前と比べると・・・」の記事が目にとまりました。前回の調査は平成27年(西暦2015年)に実施しておりますので、第1回と前回を比較した主要な項目ごとの比較が掲載されておりました。先ず人口は5596万人が1億2709万人と2.27倍に、65歳以上の割合は5.3%から26.6%に、1世帯当たりの人員は4.89人から2.36人に、外国人の人口は7.8万人から175.2万人に、平均寿命 男性は42.06歳から80.75歳に、女性は43.2歳が86.99歳に、第1次産業の就業者の割合が54.9%から4.0%という内容でした。一見して、「たった100年の間に全く違う国になった」とビックリ致しました。

今回の令和2年(西暦2020年)の調査結果はどのような内容になるのでしょうか？言われている「少子高齢化社会」「核家族社会」に歯止めはかかるのでしょうか？それとも更に進むのでしょうか？大きな流れの中で、私たちに関係の深い社会保障制度はどうなっていくのでしょうか？調査票を手元にいろいろな思いが浮かんで参りました。(U.I記)



彼岸花とクロアゲハ



ヒメアカタテハ



キタテハ

<10月、11月たちばな会関連の行事予定>

- (1) 10月定例会 10月14日(水)午後1:30~4:00 かるがも2階多目的ホール 「ほどがや」えかたり~べ(代表:篠崎顕一さん) ほどがやの昔話・民話の紙芝居

横浜の民話や昔話を掘り起こし、手作りのオリジナル紙芝居で伝える活動をしている団体の方に来ていただき、保土ヶ谷区のお話をさせていただきます。

- (2) 11月定例会 11月11日(水)午後1:30~4:00 かるがも2階多目的ホール 「エンディングノートの書き方」 井上康子さん((有)アロマプランニング代表)のお話

いつかは書いておかなければ、と思いながら手をつけられないエンディングノート。ファイナンシャルプランナーで社会福祉士の資格をもつ井上さんに保土ヶ谷区版のエンディングノートを使ってやさしく解説していただきます。

- (3) 語る会 10月24日(土)午後1:30~4:00 アワーズ和室

いつもの第4土曜日です。少人数で語り合ひましょう。

- (4) 役員会 10月2日(金)、11月6日(金)、午後1:00~16:00 かるがも2階多目的ホール



どなたも気軽に参加してください。会員の個別の相談にも応じています。

<10月、11月、12月浜家連等行事予定>

(1) 2020年度市民メンタルヘルス講座

1回目 10月3日(土) 「高木俊介の世界—おだやかに、ラディカルに、そして熱を！」 高木 俊介先生

2回目 10月17日(土) 「オープンダイアローグ—開かれた対話による治療とは」 森川 すいめい先生

午後1:30~4:00 横浜市健康福祉総合センター4階ホール(桜木町駅5分)

(2) 第2回浜家連研修会 11月20日(金) 午後1:30~4:00

小山美枝子さん・相澤隆司さん「親の子離れが子の自立を促す ~親の立場から 子の立場から」 ラポール2階大会議室

(3) 第3回浜家連研修会 12月3日(木) 午後1:30~4:00

渡邊博幸先生「精神科の薬~安全で安心な薬物療法」 ラポール2階大会議室

(4) Dブロック市民精神保健福祉フォーラム 11月7日(土) 午後1:00~4:00

石田正人先生「家族だから知っておきたい~精神障害の理解と対応」 横浜市健康福祉総合センター4階ホール

(5) Cブロック市民精神保健福祉フォーラム 11月28日(土) 午後1:30~4:00

松本俊彦先生「自傷」 横浜市健康福祉総合センター4階ホール

以上(1)~(5): 入場無料、参加申込が必要です: 548-4816 浜家連事務局

<つぶやき投稿のお願い>

新型コロナウイルスによる家族会の会場の使用制限や外出自粛が終わるまでまだ時間がかかりそうです。これまでのように皆で集まることが難しい中、会報で体験や苦労、生活の工夫などを共有しませんか。ご遠慮なくつぶやきを投稿してください。会員がつながり合うための、つぶやき投稿以外の方法もご提案ください。

<生活支援センターご利用方法の変更のお知らせ>

10月から横浜市のすべての生活支援センターの休館日が日曜日になりました。また、新規の相談は原則として居住区の支援センターが担当します。食事その他のサービスはこれまでどおりどこのセンターでも利用可能です。

